

# 熊本地域乗合バス事業共同経営 に関する状況報告

(2023年2月)

共同経営推進室

室長 高田 晋

- 1 [共同経営計画（2022年11月版）について](#)
- 2 [I C 共通定期券導入の効果](#)
- 3 [子ども無料（大人100円）の日と熊本市無料の日](#)
- 4 [セミコンテクノパーク通勤バス実証実験](#)
- 5 [共同経営推進室 2023 年度事業について](#)

## 2022年11月1日から開始

### 申請者

- (1) 九州産交バス(株)      (2) 産交バス(株)      (3) 熊本電気鉄道(株)  
(4) 熊本バス(株)      (5) 熊本都市バス(株)

### 実施期間

令和4年11月1日～令和7年10月31日までの3年間

### 共同経営の概要

#### ① 県庁方面系統の最適化

- ・経路変更や廃止による輸送の効率化、  
都市バス秋津健軍線の廃止➡九産交バス木山線の一部迂回で、  
利便性を確保しつつ、効率化
- ・待ち時間の平準化〔県庁通り（砂取校前～北窪間）〕

### 共同経営の目標

#### ① 収益性・効率性の向上

重複区間の効率化等により、**収益性は約24百万円の改善、サービス維持に必要な人員5人/日・車両4台/日の軽減**

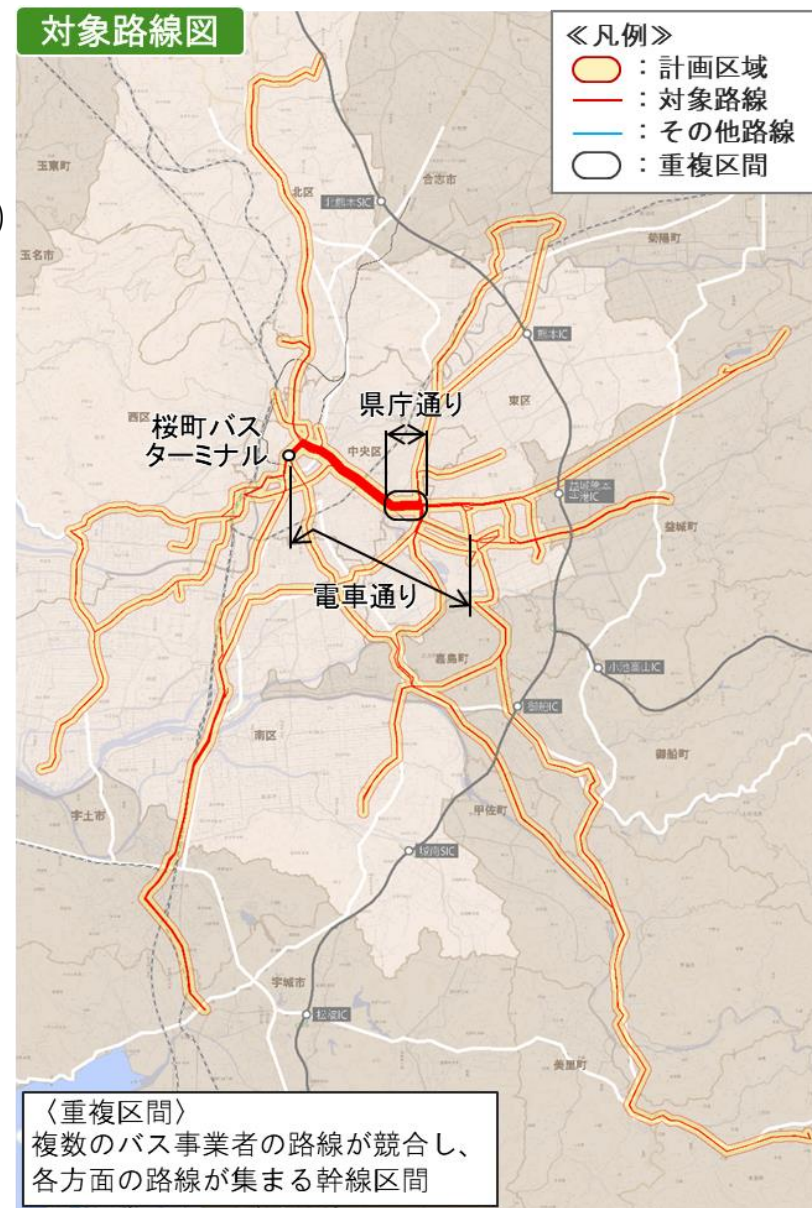
#### ② サービス提供維持の目標

利用者利便の水準を維持しつつ、対象44系統のサービス維持

#### ③ 労働環境の改善

輸送の効率化による余剰で、運転手の労働環境を改善しつつ、現行の輸送サービスを維持する

### 対象路線図



## 2022年4月1日熊本県下全域 ICカードによる共通定期の実施

- ・ IC定期券の区間内は、どの会社の路線バスでも（電鉄電車も含む）が利用可能に。
- ・ バス事業者間での乗継定期券のサービスも開始し、2枚必要だった定期券が1枚に。



### <利用者の声>

（中央区 女性会社員）

「定期で使えるバス便数が多くなり、帰宅時の選択肢が増えて助かります。」

（西区 女子高校生）

「学校帰りに市中心部に立ち寄る時など、複数の会社のバスが使えて便利です。」

2022.4.28熊日朝刊より（利用者のコメントを抜粋）

### < I C 共通定期券ご利用状況>

- ・ 輸送人員 → **16% 増**
- ・ 運送収入 → **14% 増**
- ・ ユーザー数 → **18% 増**

2022年4～9月 前年同月比

2019年9月14日（土） サクラマチクマモト開業に合わせバス・電車無料の日を実施

（主催）九州産業交通ホールディングス(株)

➡ 250%の利用客（通常土曜日比）

※2020年、2021年子ども無料（大人100円）の日を企画するもコロナにより中止

2022年11月5日（土） バス・電車子ども無料（大人100円）の日

➡ 124%の利用客（前年同月土曜日比）

<共同経営推進室以外の主催で実施した取組>

2022年10月1日（土） バス・電車子ども無料（大人100円）の日

（主催）花畑広場みらい創造共同企業体（花畑広場指定管理者）

→ 122%の利用客（前年同月土曜日比）

2022年12月24日（土） バス・電車無料の日（熊本市を通過する路線のみ対象）

（主催）熊本市

→ 155%の利用客（前年同月土曜日比）

## 2023年1月27日（金）ノーマイカーデー実証実験を実施（セミコンテクノパーク）

- T S M Cの進出で、マイカー通勤者増加による更なる交通渋滞が懸念されている中、セミコンテクノパークへの通勤バス実証実験（未来を見据えたノーマイカーデー）を実施。
- 熊本県U Xプロジェクトサポート事業に採択され実施。

### 社会実験概要

指定の自宅近くバス停やパークアンドライド駐車場から無料通勤バスに乗り、セミコンテクノパークへ通勤してもらい、周辺の渋滞緩和を目指す。

#### <ルート>

合志市ルート：計11便  
 菊陽町光の森ルート：計12便  
 熊本市東区八反田ルート：計6便  
 熊本市東区日赤ルート：計10便  
 大津町ルート：計9便

※既存の原水駅ルート（セミコンバス）は増発（計21便→30便）  
 ※豊肥本線（JR）は朝ピーク時間帯の増結対応

#### <パークアンドライド>

アンビー熊本  
 パークドーム熊本



運行に関するお問い合わせ先  
 県内バス5社 共同経営推進室 TEL:096-312-0588  
 Mail: kyodokei@kumamoto-toshibus.co.jp  
 九州産交バス(株)・産交バス(株)・熊本電気鉄道(株)・熊本バス(株)・熊本都市バス(株)

当日の利用状況・交通渋滞状況の詳細を分析中。3月に詳細報告を予定。



熊本地域における公共交通ネットワークの利便性・生産性を最大限向上していくため、県内バス事業者5社が企業間の垣根を超えて、取組みを実施していく。

## 1 路線バス利用者増に向けた取組実施及び推進

## 2 バスの運行時分適正化と効果検証

## 3 路線バスのデータ公表

その他、

- ・共同経営計画の定期的な国への報告書作成、
- ・今年度に引き続き、Beyond 5 Gの取組みへの協力などの業務を通して

**次年度も5社の垣根を超えて連携し、  
持続可能なバス路線網の構築を目指す。**

共同経営事業を着実に進め、県民市民の皆さんの移動手段の確保に努めていく

## 1 路線バス利用者増に向けた取組実施及び推進

熊本県内の路線バスの利用客は減少し続けており、コロナ感染の影響で、さらに大幅に利用者が減り、バス事業者の経営は、厳しさを増しています。

※詳細は別資料、路線バスの「データ公表」でご説明します。

### 【路線バス利用者増に向けた取組実施及び推進】

- ・ 「マーケティング」手法を用い、市場に存在する顧客を、価値観やニーズが共通したグループ（①通勤 ②私用 ③通学 ④高齢者）に分類。
- ・ それぞれの顧客グループが持つニーズを満たす「バスの価値」を提供することで、利用者を増やす。

<2023年度に実施予定の各グループの取組>

#### ①通勤

大企業等への公共交通利用呼びかけ など

※P5 セミコンテクノパーク通勤バス実証実験は 「通勤」の取組の一例

#### ②私用

My時刻表の配布、異業種と連携した情報発信や利用促進 など

#### ③通学

高校入学説明会でのバスPRや通学相談対応 など

#### ④高齢者

バスの乗り方教室やおでかけ体験会の実施 など



### 2 バスの運行時分適正化と効果検証

中心部周辺の通勤ラッシュ時は道路渋滞が非常に激しく、路線バスの遅延が常態化しており、利用者のバスへの信頼が低下しています。



#### 【バスの運行時分適正化と効果検証】

- これまでの路線バスの運行時分は、現場職員の毎日の運行経験則と実際の現場計測等により、設定。
- 2019年からバスロケーションシステム（バスきたくまさん）を導入したことで、バスの詳細な遅延時分データが集計可能になったため、路線バスの**遅延実績データに基づいた、適正な運行時分**を順次設定し、運用を行う。

<2023年中、先に実施を計画している路線>

※他の路線も検討を進めています。

産交バス・・・快速あまくさ号

熊本バス・・・田迎線・中央病院線

3 「路線バスのデータ公表」は、別資料をご覧ください。